



平成18年度秋季全国大会フォーラム講演論文募集

主 題：溶接プロセスの高機能化にむけた新しい展開
—アーク溶接はどこまで進むか—

座 長：浅井 知（東芝），田中 学（大阪大学），
山根 敏（埼玉大学），安田 修（高田機工）

日 時：平成18年9月21日 13:00～17:00（予定）

場 所：北海道大学高等教育機能センター（札幌市）

開催趣旨：

生産のグローバル化がすすめられる中，生産の基幹技

術として溶接技術に求められるものも変化してきている．溶接プロセスにおいては，従来の高能率化，高効率化にくわえ，品質や精度を含めた高機能化が求められ，製品の付加価値を高めることが期待されている．近年，レーザー溶接やFSWなどの新しい溶接法の適用も進む中，基盤となるアーク溶接においても新しい展開がすすめられている．最近のデジタル溶接電源の進歩は，アーク溶接をどのように変えるのか，TIG溶接並みの品質を実現す

る MIG/MAG 溶接は可能なのか、A-TIG をトリガーとした TIG 溶接の深溶け込み溶接はどこまで進むのか、さらには、レーザとのハイブリッド溶接は、何をもちたらすのかなど最新の技術動向を中心に、溶接プロセスの高機能化にむけたアーク溶接の今後の展開を議論する場として、本フォーラムを企画開催する。そして、自動化・システム化、高精度化等の観点から実用上の展開についても議論する。

予定討議項目：

1. 溶接機器・材料はどう進むか
 - (1) 溶接電源の動向と今後の展開
 - (2) 溶接材料の動向と今後の展開
 - (3) シールドガスの動向と今後の展開
2. 溶接プロセスはどう進むか
 - (1) MIG・MAG 溶接の新しい展開

(2) TIG 溶接の新しい展開

(3) レーザ・アークハイブリッド溶接の新しい展開

申込方法：

著者名、タイトル、概要（200 字程度）、所属、連絡先を明記し、Fax（03-3253-3059）にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

申込締切日：平成18年 4 月 1 日

講演採否：直接申込者に連絡いたします。

講演論文原稿送付締切日：平成18年 7 月15日

注) 採択された講演者には、原稿を所定様式により作成し上記送付期限までに提出していただきます。提出していただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要集 No.79 に掲載させて頂きます。原稿作成・講演方法等の詳細は座長（浅井 知）より連絡いたします。